



生涯学習の支援や情報センターとして、その中心を担う施設です。気軽に利用できる開放的で暖かい雰囲気とするため、書架や床をはじめ館内の隅々まで材質や形状、高さ、色まで気を配りました。特に、書架とテーブルについては、スチールなどは一切使用しないで、自然木のぬくもりを取り入れ、スッキリしたデザインの中にも本が主役となる、『平瀬モデル』を採用しました。

配架についても、誘い込むようなやさしい配置としました。また、床は段差をなくし、書架やテーブルなどの角も丸みを持たせ、人にやさしい配慮をしています。

※平瀬モデル：寄業者である平瀬文夫氏と（株）小島工務所との共同作品です。



図書館 ほっとするね、窓辺に光りわたしの図書館。



カウンター

図書館、本の領収のための「あんないカウンター」も設けています。館員や利用者は、コンピューターによる管理で貸出しや返却などもスムーズにできます。



子供コーナー

結果、カウンターからスッキリと見え、子どもがわくわくするような絵巻や児童書の本1万冊と、子どもが親みずを穿するテーブルがあります。子どもが本で本を選べるような低い書架になっています。



雑誌・新聞コーナー

最新の情報が満載され、みんなが気軽に読める雑誌や新聞、パワレットなどを活用しています。ソファでくつろぎながら利用できます。新聞1紙、雑誌約15誌があります。



おはなしの部屋

おはなしや読書会ができるよう、部屋の照明、空調は音コントロールです。「はなとろ」の形をしたテーブル椅子でゆっくり本をじっくり読書会したり親子読書コーナーとしても利用できます。



ティーンズルーム

青春の晴るいところから10代の子どもの読書を促し、彼らの関心の高いもの、人生の夢事となるものを中心に約1,500冊の資料を揃えています。



郷土のひとと資料展示コーナー

郷土が誇る世界的経済学者であり、文豪でもあった高田保寿先生の資料と、日本近代史の裏面を築いた、書道中林樗牛の書道や資料があります。種別、初めに読書になったひとや著作も展示します。



美術写真コーナー

街の明るくモダンな雰囲気のところを鑑賞、写真展などジャンルな本を揃えています。



ビデオ鑑賞コーナー

3人座り2台あります。



個室コーナー

日本のお寺の静寂の中でくつろぎながら読書ができるように自然に寄り添った個室になっています。借書や借帳をすることもできます。



文庫新書コーナー

公園一歩で読める窓際の読書いところと文庫新書があります。アンティークな雰囲気椅子とテーブルでゆったりとくつろぎながら読書ができます。



ピロティー読書コーナー

朝の光にさらながら読書や読覧ができます。